

●○○○-----

○○○

●○ そらいろ通信 ~EPO-Chubu メールマガジン~107号(2018.5.08)

○

発行:中部環境パートナーシップオフィス

協力:環境省中部地方環境事務所

空の色(そらいろ)を見ながら、皆さまとのつながりを感じつつ、多様な

セクター、テーマ、中部地域の環境情報をお届けします。

冒頭文は、中部地方環境事務所 総務課長 田中 雅国(たなか まさくに)

さんです。

-----  
昭和45年から昭和50年にかけてNHK総合テレビで放映された『70年代われらの世界』を、家族と食卓を囲み不安な気持ちで観ていた記憶があります。当時私は小学生でした。

成長の時代に、あえて「影」の部分を取り上げ、問題提起と展望を示す内容で、公害、環境破壊、資源枯渇、人口爆発、廃棄物、地震、原子力エネルギーなど、多くの環境関連のテーマも取り上げられました。

それらの懸念事項は、50年後の今ほぼ現実化していることを考えると、その綿密な取材と正確な考察に驚かされますが、結果的に、私たちはその流れを十分に食い止めることは出来ませんでした。

今、私たちは、当時とは比べものにならないほどの情報と技術を駆使して、将来をより正確に予測することが可能かも知れませんが、結局、危機を回避できるかどうかは、私たちの「規範意識」に委ねられているのではないのでしょうか。

-----  
| ♪ も く じ ♪ |  
-----

#### 【募集情報】

1. 公益信託地球環境日本基金 平成30年度募集
2. 平成30年度「流域モニタリング一斉調査」の実施
3. ユース海外インターンシップ参加者募集
4. 「トヨタ環境活動助成プログラム」の2018年度の募集

## 5. 花と緑のプランを応援します「緑の環境プラン大賞」募集

### 【イベント情報】

1. 市民の伊勢志摩サミット2周年イベント
2. 提言「日本のバイオエネルギー戦略の再構築」の公表
3. 「森林の楽校」2018年度開催
4. クボタeプロジェクト『地球小屋2018』

---

### ♪募集情報♪

---

#### | 1 | 公益信託地球環境日本基金 平成30年度募集

---

公益信託地球環境日本基金は、開発途上地域で進められるさまざまな地球環境保全活動を資金面から支援することによって、日本が開発途上地域の環境保全に貢献することを目的に、信託銀行各行が受託者となって設立された公益信託です。基金では毎年3月から5月にかけて助成先を募集しています。

助成対象：次の事業を行なう団体もしくは個人。

(継続して3年を超えないもの)

- (1) 開発途上地域における地球環境の保全に資する調査・研究事業
- (2) 開発途上地域における地球環境の保全に資する情報・知識の普及に関する事業（国際協力に関する活動等を含む）
- (3) 開発途上地域における地球環境保全に資する植林、森林保護、野生生物保護（生物多様性の保全に資するものも含む）、砂漠化防止等の事業

募集期限：平成30年5月21日（月）当日必着

応募方法：所定の申請書に必要事項を記入し、郵送とメールの双方で提出

問合せ先：一般財団法人 地球・人間環境フォーラム

TEL：03-5825-9735

WEB：[http://www.gef.or.jp/activity/another\\_group/fund/](http://www.gef.or.jp/activity/another_group/fund/)

募集要綱：<http://www.koueki-jtge.jp/pdf/furtherance2018.pdf>

---

#### | 2 | 平成30年度「流域モニタリング一斉調査」の実施

---

愛知県では、河川やため池など身近な水環境に興味を持っていただくため、県民の方々を対象に県内全域で「流域モニタリング一斉調査」を実施します。

この調査は、参加者の五感により水の色やにおいなどを評価するもので、どなたでも簡単に実施することができます。

調査地点は身近な川やため池、湖、水路、海辺などで調査の内容は「水のきれいさ」「水の量」「生態系」「水辺のようす」の4つの視点から行います。

対象：どなたでも参加できます

(小学生以下の方は保護者の方と一緒に参加)

調査場所：県内の身近な水辺（川やため池、湖、水路、海辺など）

調査期間：平成30年6月5日（火）（環境の日）から9月末まで

※期間内に調査ができない場合は、調査日を変更できます。

応募・

問合せ先：お住いの市町村の環境保全担当

詳細：[http://www.pref.aichi.jp/kankyo/mizu-ka/jyunkan/04monitoring/1\\_chousa\\_houhou.html](http://www.pref.aichi.jp/kankyo/mizu-ka/jyunkan/04monitoring/1_chousa_houhou.html)

---

| 3 | 「SATO YAMA UMI プロジェクト」

| ユース海外インターンシップ参加者募集

---

日本環境教育フォーラム、バードライフ・インターナショナル東京およびコンサベーション・インターナショナル・ジャパンが共同で取り組む「SATO YAMA UMI プロジェクト」では、プロジェクトの一環として、ユース海外インターンシッププログラムを実施いたします。

このプログラムは、途上国の自然環境に大きく生活を依存する現代社会において、将来的に社会リーダーとして、変革をもたらすことを期待されるユース世代の育成のための「奨学金付インターンシップ」への参加者を募集するものです。

募集人数：下記プロジェクト各1名（合計5名・予定）

カンボジア(1)(2)

インドネシア

サモア・ボヤジング・ソサイエティ

ニューカレドニア、マンタ・イニシアティブ

応募締切：平成30年5月31日(木)23時59分

応募先 : youth@satoyamaumi.jp ※メールのみ受付

詳細 : <http://www.jeef.or.jp/2018/04/20325/>

#### | 4 | 「トヨタ環境活動助成プログラム」2018年度の募集

トヨタ自動車は、「持続可能な発展」のための環境改善や保全に向けた活動を助成する「トヨタ環境活動助成プログラム」の2018年度助成対象の募集を開始します。

助成対象テーマは「生物多様性」「気候変動」とし、それぞれ実践的なプロジェクトを推進するNPO等の民間非営利団体（学校は対象外）・グループに助成を行います。また、この活動は「トヨタ環境チャレンジ2050」実現に向けた取り組みの一環です。

募集期限 : 平成30年6月8日(金)

助成枠 : (各々条件等あり)

海外プロジェクト : 一件あたり700万円が上限

国内プロジェクト : 一件あたり300万円が上限

国内小規模プロジェクト : 一件あたり100万円が上限

問合せ先 : トヨタ環境活動助成プログラム事務局

TEL : 03-3817-9238 (受付対応 : 月~金 10:00~17:00)

E-mail : [tmc-ecogrant@g500.jp](mailto:tmc-ecogrant@g500.jp)

詳細 : <https://newsroom.toyota.co.jp/jp/corporate/22005938.html>

#### | 5 | 花と緑のプランを応援します「緑の環境プラン大賞」募集

公益財団法人都市緑化機構および第一生命保険株式会社では、緑豊かな都市環境の形成を図るとともに、生活の質の向上やコミュニティの醸成等に役立つことを願い、1990年に「緑のデザイン賞」を創設し、緑化のプランの実現のための助成を開始しました。本年度も緑化プランを募集しています。

【シンボル・ガーデン部門】全国の民間・公共の各種団体

地域のシンボリックな緑地として、緑の持つヒートアイランド緩和効果、生物多様性保全効果等を取り入れることにより、人と自然が共生する都市環境の形成、および地域コミュニティの活性化に寄与するアイデアを盛り込んだ緑地のプラン

ンを募集。

【ポケット・ガーデン部門】全国の民間・公共の各種団体

日常的な花や緑の活動を通して、地域コミュニティの活性化や、保育園・幼稚園、学校、福祉施設等での情操教育、身近な環境の改善等に寄与するアイデアを盛り込んだ花や緑のプランを募集。

応募期限：平成30年6月30日(土)必着

問合せ先：公益財団法人都市緑化機構内「緑の環境プラン大賞」事務局

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-4 田村ビル2階

TEL：03-5216-7191

FAX：03-5216-7195

E-mail：midori.info@urbangreen.or.jp

詳細：<https://urbangreen.or.jp/grant/3hyosho/green-plan>

---

## ♪イベント情報♪

---

### | 1 | 市民の伊勢志摩サミット2周年イベント

---

東海市民社会ネットワーク研究会が市民の伊勢志摩サミット2周年イベントを開催します。

SDGsについて学び、理解を深め、地域を豊かにしていくために、自身ができること・考えなくてはいけないことを認識し、何が必要なのかを模索していくきっかけの場として企画されました。

日時：平成30年5月27日(日)10:00~18:00

場所：中部大学名古屋キャンパス6階大ホール

(名古屋市中区千代田5-14-22)

参加費：無料

定員：100名

内容：

<午前の部>10:00~12:00 東海市民社会ネットワーク総会、G20勉強会

<午後の部>13:00~18:00 市民サミット2周年イベント

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

アドボカシー・スペシャリスト 大野容子さんによる講演

「SDGs 策定から2年～これまでの動きとこれから～」

詳細：<http://www.kokuchpro.com/event/summit2/>

問合せ：東海市民社会ネットワーク事務局

みえ市民活動ボランティアセンター

TEL：059-222-5995

E-mail：[center@mienpo.net](mailto:center@mienpo.net)



## | 2 | 提言「日本のバイオエネルギー戦略の再構築」の公表



公益財団法人自然エネルギー財団は、「日本のバイオエネルギー戦略の再構築  
バイオエネルギー固有の役割発揮に向けて」を公表しました。

本提言では、日本のバイオエネルギー政策や市場の課題を解決し、将来の方向性を示すために、バイオエネルギーの基本特性を概観するとともに、バイオエネルギーの利用で先行する欧州の経験を整理しました。その上で、日本のバイオエネルギー戦略の再構築のために、長期的なビジョンの明確化を行うとともに、利用分野ごとの当面の戦略を示しています。

全文はこちら：<https://www.renewable-ei.org/activities/reports/20180413.html>



## | 3 | 「森林の楽校」2018年度開講



都市と農山漁村の人々をネットワークで結ぶことにより、環境の保全改良、地方文化の発掘と普及、過疎過密の問題の解決に取り組むことを目的に活動するJUON NETWORK（樹恩ネットワーク）は、「森林の楽校（もりのがっこう）」を開催しています。これは、日本の森林の問題を頭ではなく体で感じたい人におすすめの森づくり体験プログラムです。

富山「そばの里 森林の楽校」、長野「安曇野 森林の楽校」、岐阜「風の谷 森林の楽校」のプログラムも開催しています。

※「森林の楽校」の詳細：<http://juon.or.jp/>

問合せ：認定特定非営利活動法人 JUON NETWORK（樹恩ネットワーク）

TEL：03-5307-1102

E-mail：[juon-office@univcoop.or.jp](mailto:juon-office@univcoop.or.jp)

「  
| 4 | クボタ e プロジェクト 『地球小屋 2018』  
」

クボタ e プロジェクト 『地球小屋 (TERRA-KOYA)』として、長野県池田町・カミツレの里を舞台に、有機農業を学ぶ「小学生農業学習型キャンプ」を開催します。

有機農業のプロフェッショナル、竹内孝功さんを講師に迎え、大自然に囲まれた畑や田んぼで農業を楽しく学ぶとともに、子ども達が将来に向かうチカラを育む機会となることを目指します。

実施期間：平成 30 年 7 月 23 日(月)～26 日(木)／3 泊 4 日 ※雨天決行

詳細：<http://begoodcafe.com/news/terrakoya2018>

問合せ・

申込先：NPO 法人 BeGood Cafe

クボタ e プロジェクト 『地球小屋 2018』係

TEL：03-6413-8801 (平日 10:00～18:00)

E-mail：[terra-koya@begoodcafe.com](mailto:terra-koya@begoodcafe.com)

---

【本メールマガジンについて】

本メールマガジンは、転送自由です。

配信を希望される方は、下記までお申し込みください。

○申込：[office@epo-chubu.jp](mailto:office@epo-chubu.jp)

○解除：[office@epo-chubu.jp](mailto:office@epo-chubu.jp)

○バックナンバー

そらいろ通信 ～EPO-Chubu メールマガジン

<http://www.epo-chubu.jp/>

---

発信元：環境省中部環境パートナーシップオフィス (EPO 中部)

〒460-0003 名古屋市中区錦 2-4-3 錦パークビル 4F

TEL:052-218-8605 FAX:052-218-8606

E-mail:[office@epo-chubu.jp](mailto:office@epo-chubu.jp) <http://www.epo-chubu.jp>

---

---